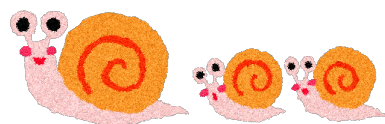


# 図書館だより

令和4年 6月



いよいよ雨の多い季節になりました。雨の日は、ゆっくり読書しませんか？図書館には、話題の本も含めて、5月に入った新着本が数多く配架されています。一度手にとってみてください。そして興味を持ったらぜひ読んでみてください。本との出会いは、きっとあなたをより一層豊かにするはずです。

今年は、ビブリオバトルを7月に開催します。優勝者には県大会に菊里高校代表として出場してもらいます。県大会で優勝すると全国大会にも進出します。ビブリオバトルに挑戦してみませんか？

## ビブリオバトル 出場者募集！

**日時：7月13日(水) 15:50開始**

15:50頃から音楽科の生徒による演奏（予定）

**場所：本校図書館 閲覧室にて**

今年も校内ビブリオバトルを開催します。自分のお気に入りの本を熱く語りたい！みんなにも読んでほしい！という人を募集します。また、熱のこもった発表を聞きたい！という人もぜひ聞きに来てください。

発表希望者は6月9日(木) 16時50分までに、司書室

へ来てください。見学は自由です。

\*ビブリオバトルとは・・・発表参加者がおすすめ本を一人5分間で順番に語り、会場の聴衆が「もっとも読みたい本」を投票し、チャンプ本を決定する「知的書評合戦」といわれるイベント。

## 直木賞作家 今村翔吾さん来校！

**7月26日(火) 13時45分～14時45分**

本校図書委員会が「今村翔吾のまつり旅」企画に応募し当選しました。内容は現在企画調整中。主に作品執筆にまつわるエピソードなどをインタビュー形式で行う予定です。

参加希望者は司書室へ来てください。先着順。

今村翔吾（いまむら・しょうご）・・・1984年京都市木津川市生まれ。2017年に「火喰鳥（ひくいどり）羽州（うしゅう）ぼろ篇（とび）組」でデビュー。過去には「童の神」「じんかん」が直木賞候補になり、「塞王の楯」で第166回直木賞を受賞。

## 生徒の皆さんにお願い！

- ★4月中に本を借りた人は、至急返却してください。貸出期間の2週間がすでに過ぎています。
- ★図書館は皆さんがルールを守って利用することで、より多くの方が読みたい本を読むことができます。名古屋市立の図書館ではベストセラーになると100人待ち、200人待ちは珍しくありません。しかし、本校の図書館ならそのようなことはありません。1冊の本を多くの方が読むことができる本校のシステムを、皆さんの良識で守ってください。

## ★新着図書紹介★



### 『春のこわいもの』



川上未映子

こんなにも世界が変わってしまう前に、私たちが必死で夢見ていたものは？感染症大流行前夜の東京を舞台で、男女6人が

体験する地獄めぐり。ひたひたと「こわい」、目を覚ませば済む悪夢とは違うリアルな悪夢を味わってみよう。

### 『男の子になりたかった女の子』



松田青子

松田青子

今や国内外で話題沸騰の松田青子の最新集。苦しい女性の人生をもっと自由にさせる、笑いとおパンチが炸裂した

12編を収録。谷崎潤一郎『細雪』をモチーフにした「いつまでも身を固めない」ゼリーが冷蔵庫で女子会トークをする「ゼリーのエース」など、洒落で風刺の効いた短編集で元気をもらおう！

### 『現代思想入門』

千葉雅也

現代思想入門  
千葉雅也

人生が変わる哲学。



現代思想の真髄を  
かつてない仕方  
で書き尽くした  
「入門書」の決定版

人生を変える哲学がここにある。現代思想の神髄をかつてない仕方

で書き尽くした「入門書」の決定版。物事を二項定理で捉えない、人生のリアリティはグレーゾーンに宿る、権力は下からやってくる！菊里生必読の書。

### 『撤退論』内田樹



撤退論  
内田樹編

持続可能な未来のために、市場原理から、地球環境破壊から、都市一極集中から撤退する時が来た！

少子化・人口減・気候変動・パンデミック…。国力が衰微し、手持ちの国民資源が目減りしてきていると

いわれる現代において「撤退」は喫緊の論件。「子どもが生まれず、老人ばかりの国」において人々がそれなりに幸福に暮らせるために、どういう制度を設計すべきかについて衆智を集めたアンソロジー。

### 『香君』上下

上橋菜穂子



遙か昔、神郷からもたらされたという奇跡の稲、オアシ稲。ウマル人はこの稲を用いて帝国を作りあげたが、ある時、虫害が発生してしまう。人並外れた嗅覚を持つ少女アイシャは、やがて、オアシ稲に秘められた謎とむきあっていくこととなる。「精霊の守り人」「獣の奏者」「鹿の王」の著者による新たな代表作誕生。

### 『八月の母』

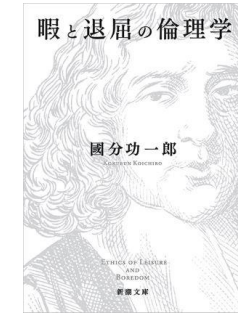
早見和真



早見和真

愛媛県伊予市で実際にあった事件を基に描かれた小説。うだるような暑さだった八月のあの日、あの団地の一室で何が起こったのか。強烈な愛と憎しみで結ばれた母と娘の長く狂おしい物語。「いつかこの街を出ていきたい」と願っていた娘の前に立ち塞がった母。人間のうちに秘められた負の感情が一気にむき出しになっていく。ここにあるのは、かつて見たことのない絶望か、希望か。注目の書です。

### 『暇と退屈の倫理学』国分功一郎



「暇」とは何か。人間はいつから「退屈」しているのだろうか。答えに辿りつけない人生の問いと対峙するとき、哲学は大きな助けとなる。著者の導きで先人たちの叡智を読み解けば、知の樹海で思索する喜びを発見するだろう。消費社会問題を鋭く指摘したベストセラー。

### 『高校生と考える新時代の争点21』

桐光学園高校・中学訪問授業



世界が変わる、考えが変わるのは今だ。コロナ禍、情報社会、哲学、ジェンダー、歴史、ことば、人生…ポストコロナを生き抜くために豪華講師陣（伊藤比呂美・武田砂鉄・鴻巣友季子・永田和宏 etc.）と探る、現代社会の教養21講座！京都大学の先生が多く、何を学びたいか、これを読むときっと見つかります！

